

INTERNAL USB 2.0 Memory Card READER

内蔵型メモリーカードリーダー
ユーザーズマニュアル

目次

取扱い上のご注意	1
付属品の確認	4
ごあいさつ	5
ご注意	5
ロジテックソフトウェア使用権許諾契約書	6
第1章 製品のご紹介	8
1.1 製品の特徴	8
1.2 各部の名称と機能	12
1.3 USB 2.0 インターフェースボードの接続	14
第2章 接続について	15
2.1 接続の前に - 接続ケーブルの確認 -	15
2.2 外部USB ポートに接続する場合の手順	16
2.3 内部USB ポートに接続する場合の手順	19
第3章 ドライバのインストール	24
3.1 Windows XP の場合	24
3.2 Windows Me の場合	25
3.3 Windows 98 の場合	28
3.4 Windows 2000 の場合	31
第4章 操作について	35
4.1 メディアのセット方法	35
4.2 メディアの取り出しについて	39
4.3 使用上の注意事項	42
第5章 補足事項	43
5.1 トラブルシューティング	43
ハードウェア仕様	45



取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
 注意	この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かを注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意味します。

警告

接続時には電源コードを抜いてください。

本製品をパソコン本体に接続するときには、パソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。



万一、異常が発生したとき。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



分解 / 改造しないでください。

本製品は絶対に分解・改造しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



警告

内部に異物を入れないでください。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



水場で使用しないで下さい

浴槽、洗面台、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。



濡れた手で触らないで下さい。

本製品を濡れた手で触ると感電・故障の原因となります。



本製品を小さなお子様の手の届く場所へ放置しないで下さい。機器を損傷する可能性があるだけでなく、お子様がケガをする危険があります。



注意

接続時、感電／火傷等に注意してください。

- ・パソコン本体内部には感電の危険性がある部分があります。感電には十分注意してください。
- ・電源OFF直後のパソコン本体内部には、高温の部分（CPUなど）があります。火傷しないように注意してください。
- ・パソコン本体内部の金属部分や基板の裏側に、不注意に触れるとケガをすることがありますので注意してください。



ケガに注意



感電注意



高温注意

静電対策をしてください。

本製品およびパソコン本体には、静電気に弱い部品が使用されています。静電気のたまりやすいカーペットの上などに置かないでください。また、接続の前にパソコン本体の金属が露出している部分にふれて、体内の静電気を放電してから作業を行ってください。接続時、不要部分には手を触れないでください。



その他の
強制事項

対応メディア以外は装着しないで下さい。

本書に記載された対応メディア以外は装着しないでください。規格の相違から故障、火災の原因となります。また、本製品内部にメディア以外の金属片などを押し込まないで下さい。



その他の
禁止事項

注意

コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不良などにより故障の原因になります。



その他の
禁止事項

高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用/保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置があるとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。



本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。



その他の
強制事項

メディアの取扱いについて

本製品で使用するメディアに関しては、購入したメディアの取扱説明書等に従って正しい取扱いをして下さい。傷がついたり折れ曲がったメディア等を本製品で使用すると故障の原因となります。



その他の
注意事項

VCCIに基づく表示

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると電波障害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをして下さい。

付属品の確認

メモリーカードリーダー	1台
USB 2.0 High-Speed 対応ケーブル（シリーズA - シリーズB）.....	1本
内部接続用 USB 2.0High-Speed 対応ケーブル（5ピン - 5ピン）.....	2本
PCI / Low Profile PCI バス用スロットカバー（専用品）.....	1式
取り付けネジ	5本
「USB Card Reader ドライバ」CD-ROM	1枚
保証書 / ユーザー登録カード	1枚
LMC-CA64U2K ユーザーズマニュアル	本書

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

*MS[®]、MS[®]-DOS、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他のような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

ご使用前に必ずお読みください。

ロジックソフトウェア使用権許諾契約書

本契約は弊社とお客様との間で締結されるものです。本契約書をよくお読みの上、本契約書にご同意いただいた場合には、お手数ですが本製品添付のユーザー登録カード（保証書と一体で添付されているもの）に必要事項をご記入の上、ご返送いただきますようお願いいたします。

本契約に関して疑義がある場合、もしくは弊社にご連絡を取りたい場合は、以下にご連絡ください。

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原8268 ロジック株式会社 テクニカルサポート
TEL. 03-5326-3667 (祝祭日を除く月～金曜日)
FAX. 0265-74-1456 9:30～12:00、13:00～17:00)

1．使用許諾

- (1) 弊社は、添付ソフトウェアプログラム（以下「本ソフトウェア」といいます）を、本ソフトウェアとともに提供されるハードウェア（本ソフトウェアがキットに添付される場合にはキットが組み合わされるハードウェア）において使用できる使用権をお客様に許諾します。
- (2) お客様は、本ソフトウェアを一時に一台のコンピュータにおいてのみ使用することができます。ネットワークシステムの場合は、一時に一台の端末でのみ使用することができます。

2．著作権

- (1) お客様は本ソフトウェアをその他の著作物と同様に取り扱っていただく必要があります。ただし、バックアップ目的にのみ本ソフトウェアを複製すること、またはオリジナルを保存用のみに保持して本ソフトウェアをハードディスクに組み込むことができます。
- (2) お客様は、本ソフトウェアとともに提供された取扱説明書等の印刷物を複製しないものとします。

3．規制

- (1) お客様は、本ソフトウェアを貸与したり、リースに供することはできないものとします。ただし、お客様は本ソフトウェアとその関連資料の複製物を保有していないこと、および受領者が本契約の条件に合意していることを前提に、本ソフトウェアおよびその関連印刷物を第三者に譲渡することができます。その場合、お客様は本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアを同時に当該第三者に譲渡するものとします。

- (2) お客様は、本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルもしくは逆アセンブルをしてはならないものとします。
- (3) お客様は、本ソフトウェアのコピーを分配したり、ネットワークシステム内の1台の端末から他へ電送してはならないものとします。

4．保証

弊社は本ソフトウェアに関して以下の保証のみを行いません。なお、この保証は日本国内のみにて有効なものとします。

- (1) お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から1年以内に弊社が本ソフトウェアの誤りの修正を行なったときは、弊社はその修正内容をお客様に提供するものとします。ただし、弊社がその裁量により情報の提供を決定した場合に限りです。
- (2) 本ソフトウェアの記録媒体に、本ソフトウェアの使用に支障を来たすような物理的欠陥があった場合には、お客様が本ソフトウェアをお受け取りになった日から30日以内にご連絡をいただければ、弊社は当該記録媒体を無償で交換（ただし、弊社が当該欠陥を弊社の責任によるものと認めた場合に限りです。）するものとします。これをもって記録媒体に関して弊社が行なう唯一の保証とします。

5．免責

- (1) 弊社は、本ソフトウェアを使用した結果に関していかなる保証も行いません。本ソフトウェアに関して発生する問題は、お客様の責任及び費用負担によって処理されるものとします。
- (2) 弊社は、本ソフトウェアおよびその関連印刷物および本ソフトウェアとともに提供されたハードウェアに関して、商業的に有用であること、特定の目的に適合すること等に関し、明示的にも黙示的にも一切の保証をしないものとします。
- (3) いかなる場合であっても弊社は、お客様が本ソフトウェアを使用することにより生じる商業的利益の逸失、商業の支障その他のいかなる損害について、たとえかかる損害が生じる可能性があることにつき通知を受けていた場合であっても一切の責任を負わないものとします。

6．その他

- (1) 弊社は、ユーザー登録カードにより登録をいただけないお客様に対しては、バージョンアップサービスその他のサポートサービスを行なう義務を負いません。
- (2) 本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を管轄裁判所として解決するものとします。

第1章

製品のご紹介

1.1 製品の特徴

本製品は、パソコンのUSB2.0のHigh-Speedに対応した内蔵型メモリーカードリーダーです。メモリースティック、SmartMediaカード、CompactFlashカード、SDメモリーカード等多くのメディアを使用することができますので、様々なメディアで記録したデータを簡単にパソコンに取り込むことができます。

本製品の特徴

内蔵型ユニットですので、場所をとらずに、空いている5インチベイまたは3.5インチベイに収納することができます。

USB 2.0のHigh-Speedに対応していますので、ドライブやメディアのデータ転送スピードを最大限に引き出すことができます。また、従来のUSB 1.1にも対応していますので幅広いパソコンで使用することが可能です。

メモリースティック用スロット、SmartMedia用スロット、SDメモリーカード用スロット、CompactFlash用スロットを装備しています。

パソコン本体の電源がONになっている状態で、メディアの抜き差しが可能です。

付属のUSBケーブルをパソコンの内部に配線し、付属の「PCI / Low Profile PCIバス用スロットカバー」を通してパソコンの外部に引き出すことも可能です。

スロットカバーはLow Profile PCIバスにも対応していますのでLow Profile PCIバスを搭載した省スペースパソコンへの接続も容易です。

また、付属の内部USBケーブルを使用すれば、マザーボードに搭載の内部USBコネクタへの接続も可能です。

使用可能メモリーカード

本製品で使用可能なメモリーカードは以下の通りです。

(1) メモリースティック / メモリースティック PRO

(2) SDメモリーカード / マルチメディアカード



ご注意

- ・メモリースティック PRO と SDメモリーカードとの同時使用はできません。
 - ・メモリースティック PRO の高速転送には対応しておりません。
 - ・本製品でメモリースティック、メモリースティック PRO、SDメモリーカードの著作権保護機能(マジックゲート機能)にアクセスすることはできません。
-

(3) SmartMedia

本製品では、以下の条件にあった SmartMedia を使用することができません。(ID付きも含む)

容量	4 MB ~ 128MB
電源仕様	3.3V 仕様



ご注意

- ・2MBの SmartMedia はご使用になれません。使用可能な SmartMedia は 4MB ~ 128MB (3.3V 仕様) のものとなります。
 - ・本製品で 5V 仕様の SmartMedia を使用することはできません。
 - ・SmartMedia は、フォーマットのクラスタサイズが規格で決められています。これを Windows 標準のフォーマットなどでフォーマットすると、クラスタサイズが変わってしまうことがあります。
 - ・本製品では ID 機能はサポートされていません。ID 付き SmartMedia を使用した場合は通常のメディアとして認識されます。
-

(4) CompactFlashカード / microdrive

本製品では CompactFlash Association に準拠した CompactFlash カード、および 1GB / 340MB / 170MB の microdrive を使用することができます。



ご注意（共通）

- ・本製品で microdrive を使用する場合は、それ以外のメモリーカードを本製品から取り出しておく必要があります。
 - ・本製品でフォーマットを行うと、デジタルカメラから認識されなくなる場合があります。各メモリーカードを、デジタルカメラ等でも使用される場合には、本製品では絶対にフォーマット行わないで下さい。
-

1 . 2 各部の名称と機能

1

本製品前面

電源表示ランプ（緑色）

本製品がパソコンに接続されている状態でパソコンの電源がonになると「点灯」します。

アクセス表示ランプ（赤色）

本製品用のドライバがインストールされている状態で、メディアに対してアクセスが行われると、「点滅」します。この表示ランプは4つのスロット共用です。

メモリースティック用スロット

メモリースティックをセットするスロットです。

SDメモリーカード用スロット

SDメモリーカード、マルチメディアカードをセットするスロットです。

SmartMedia 用スロット

SmartMedia カードをセットするスロットです。

CompactFlash 用スロット

CompactFlash、microdrive をセットするスロットです。

CompactFlash 用イジェクトボタン

このボタンを押すと、CompactFlash 用スロットにセットされている CompactFlash、microdrive を取り出すことができます。アクセス表示ランプが点滅しているときは絶対に押さないで下さい。

本製品背面

USB シリーズ B コネクタ

付属の USB 2.0 High-Speed 対応ケーブルでパソコン本体の外部 USB ポートと接続する場合に使用します。

USB 5pin コネクタ

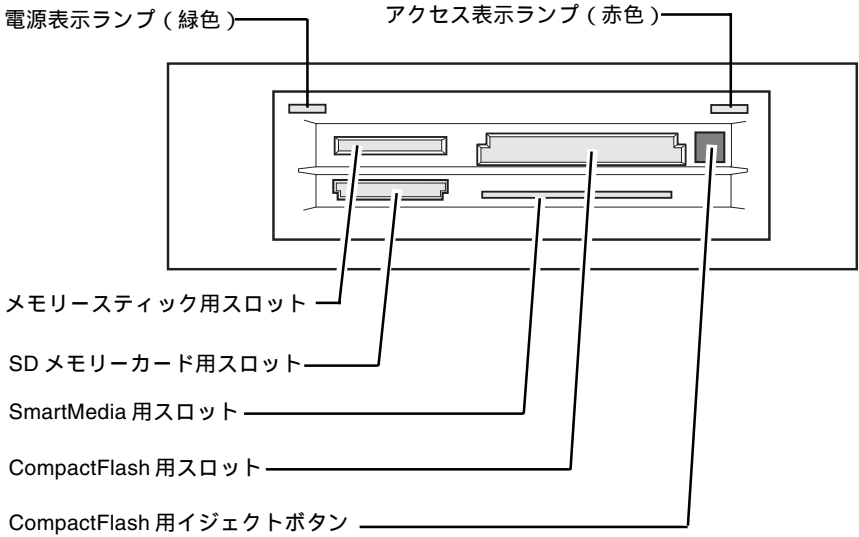
付属の内部接続用 USB 2.0 ケーブル（5ピン - 5ピン）でパソコン本体の内部 USB ポートと接続する場合に使用します。



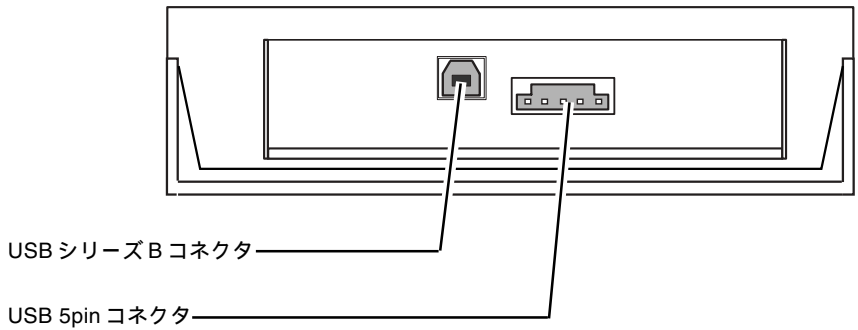
ご注意

USB シリーズ B コネクタおよび USB 5 ピン コネクタを同時に使用することはできません。

本製品前面



本製品背面

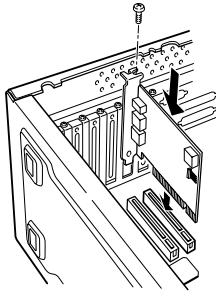


1 . 3 USB 2.0 インターフェイスボードの接続

1

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は別売りの USB 2.0 インターフェイスボード (PCI 用インターフェイスボード) が必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前に USB 2.0 インターフェイスボードのマニュアルにしたがって接続やドライバのインストールを行っておいてください。(本製品を USB 1.1 ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。その場合の最大転送速度は従来の USB 1.1 と同様 Full-Speed (12Mbps) になります。)



USB 2.0 インターフェイスボードは、以下の型番で弊社から発売されているものをご使用ください。

PCI バス用 USB 2.0 インターフェイスボード

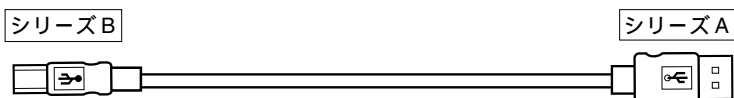
型番	バス	備考
LHA-USB2N	PCI	インターフェイスボード単体

第2章 接続について

2.1 接続の前に - 接続ケーブルの確認 -

本製品をUSB 2.0ポートに接続する場合、接続に使用するケーブルがUSB 2.0 High Speedに対応していないとデータの書き込みエラーなどトラブルが発生する原因になります。本製品には3本のUSB2.0 High-Speed 対応ケーブルが付属していますので、接続には必ずこの3本のケーブルのいずれかをご使用ください。(USB 1.1ポートに接続する場合もなるべく付属のケーブルをご使用ください。)

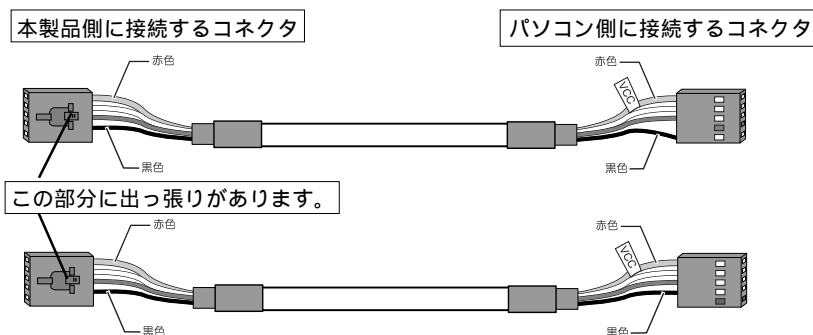
付属USB 2.0 High-Speed対応ケーブル



本製品をパソコンの外部USBポートまたはUSB 2.0インターフェースボード(内部USBポート)に接続する場合はこのケーブルを使用します。

このケーブルを使用して外部ポートに接続する場合は「2.2 外部USBポートに接続する場合の手順」を、インターフェースボードの内部USBポートに接続する場合は「2.3 内部USBポートに接続する場合の手順」を、それぞれ参照して本製品の接続を行なってください。

内部接続用USB 2.0 High-Speed対応ケーブル(5ピン - 5ピン)



パソコンの内部にあるマザーボード(あるいはUSB 2.0インターフェースボードの内部コネクタ)に接続する場合は、このケーブルを使用します。

このケーブルを使用する場合は「2.3 内部USBポートに接続する場合の手順」を参照して本製品の接続を行なってください。

パソコン側内部USBコネクタのピン配列には2種類あります。本製品接続の際は、パソコン側USBコネクタのピン配列と対応するケーブルをご使用ください。

2.2 外部 USB ポートに接続する場合の手順

ここでは、本製品をパソコンの 5 インチベイに内蔵し、付属のケーブルを使用して本製品と外部 USB ポートを接続する場合の手順についてご説明いたします。接続は、以下の手順で行いますが、カバーなどの取り外し手順や機器の増設方法などはパソコンにより異なります。詳細につきましてはパソコン本体の取扱説明書をご参照下さい。

接続先の USB ポートが USB 2.0 の場合も USB 1.1 の場合も接続手順は同じです。ただし USB 1.1 ポートに接続した場合の最大転送速度は USB Full-Speed (12Mbps) までとなります。

重要なお注意

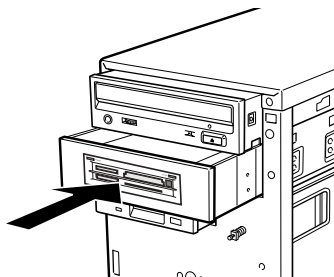
接続の前に必ず本製品、パソコン本体、およびそこに接続された全ての周辺機器の電源を OFF にして、パソコン本体の電源コードをコンセントから外してください。接続時に内部ショートが発生すると電源が ON になる場合があります。感電や火災を防止するため、必ず電源コードをコンセントから外してください。

パソコン本体の電源を OFF にして電源コードを含む全てのケーブルを外してください。

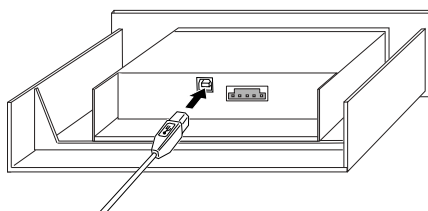
パソコン本体のカバーを外し、必要な場合はフロントマスク等を取り外します。本製品を内蔵するために以下の作業が必要な場合も必要に応じて行なってください。

- ・5 インチベイに金属製のカバーがある場合、内部カバーを取り外してください。
- ・フロントマスクを取り外す必要がないパソコンの場合、5 インチベイのカバーを取り外して置いてください。

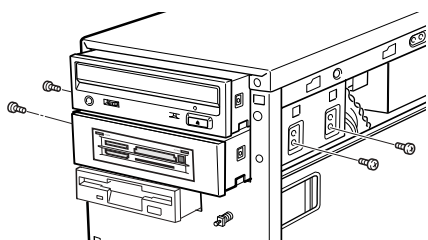
本製品を 5 インチベイに接続します。完全に挿入してしまうとケーブルの接続がやりにくくなりますので、半分くらい挿入した状態で次の作業を行ってください。(まだ、この段階ではネジ止めしません。)



付属の外部接続用 USB ケーブルの USB シリーズ B コネクタを本製品に接続します。



本製品を完全に挿入してパソコンに付属のネジでネジ止めます。ネジ止めの方法はパソコンによって異なりますが、多くの場合、横から止めます。

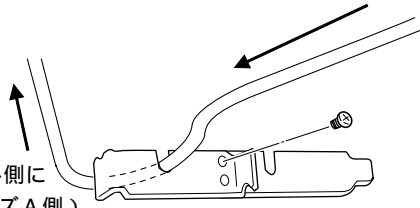


2

本製品付属の PCI / Low Profile PCI バス用スロットカバーを付属のネジでネジ止めし、手順 で取り付けした USB ケーブルを通します。

本製品側から
(USB シリーズ B 側)

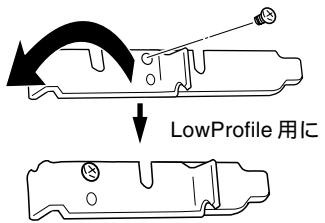
パソコンの外側に
(USB シリーズ A 側)



Point

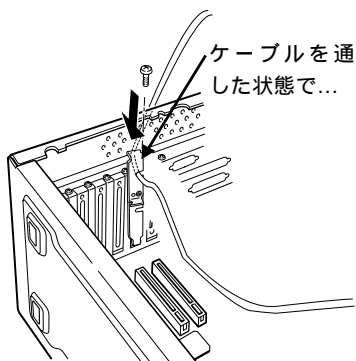
ポイント

ご使用のパソコンの拡張スロットが Low Profile 用の場合は、右図のように中央のネジを外し、突起部を反転させて、U字型のくぼみを重ね、再度ネジ止めして使用して下さい。

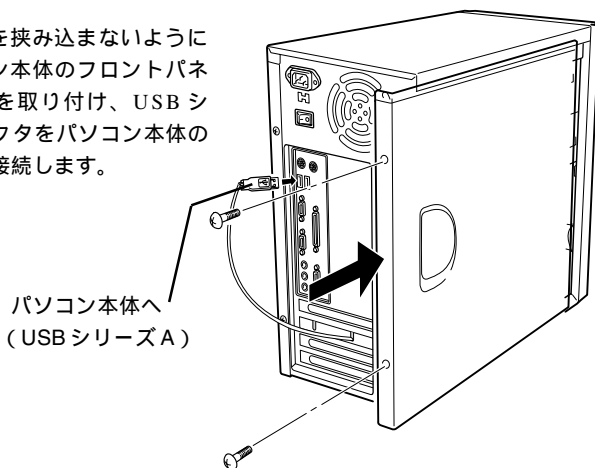


2.2 外部 USB ポートに接続する場合の手順

パソコン本体の拡張スロットカバーを取り外し、PCIバス用スロットカバーを USB ケーブルが通された状態で取り付けます。このとき USB ケーブルが外れないようにご注意ください。



ケーブルなどを挟み込まないようにして、パソコン本体のフロントパネルとカバー等を取り付け、USB シリーズ A コネクタをパソコン本体の USB ポートへ接続します。



以上で接続は終了です。続いてドライバのインストール作業を行います。第3章にお進み下さい。

2.3 内部 USB ポートに接続する場合の手順

ここでは、本製品をパソコンの5インチベイに内蔵し、付属のケーブルを使用して本製品と内部 USB ポートに接続する場合の手順についてご説明いたします。接続は、以下の手順で行いますが、カバーなどの取り外し手順や機器の増設方法などはパソコンにより異なります。詳細につきましてはパソコン本体の取扱説明書をご参照下さい。

重要なお注意

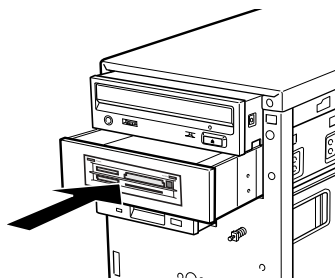
接続の前に必ず本製品、パソコン本体、およびそこに接続された全ての周辺機器の電源を OFF にして、パソコン本体の電源コードをコンセントから外してください。接続時に内部ショートが発生すると電源が ON になる場合があります。感電や火災を防止するため、必ず電源コードをコンセントから外してください。

パソコン本体の電源を OFF にして電源コードを含む全てのケーブルを外してください。

パソコン本体のカバーを外し、必要な場合はフロントマスク等を取り外します。本製品を内蔵するために以下の作業が必要な場合も必要に応じて行なってください。

- ・5インチベイに金属製のカバーがある場合、内部カバーを取り外してください。
- ・フロントマスクを取り外す必要がないパソコンの場合、5インチベイのカバーを取り外して置いてください。

本製品を5インチベイに接続します。完全に挿入してしまうとケーブルの接続がやりにくくなりますので、半分くらい挿入した状態で次の作業を行なってください。(まだ、この段階ではネジ止めしません。)



3本の付属のUSBケーブルのどのタイプのものを接続に使用するかを選択します。

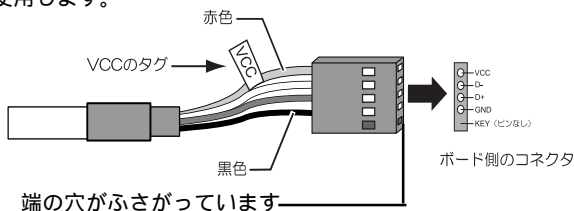
重要



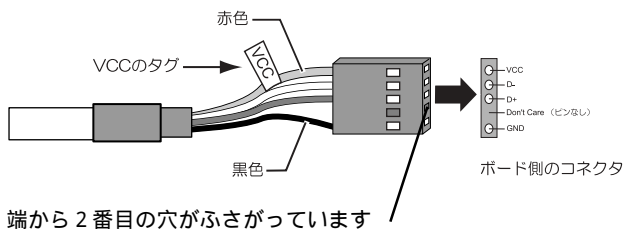
必ずパソコン内部またはUSB 2.0 インターフェイスボードのUSBコネクタの仕様を確認してください。

内部接続用 USB ケーブルを使用する場合

- ご使用のパソコンの内部 USB コネクタの形状が「端にピンがないタイプ」の場合は、付属の内部接続用 USB ケーブルのパソコン側のコネクタ (VCC のタグがあるほうのコネクタ) の端の穴がふさがっているタイプのものを使用します。

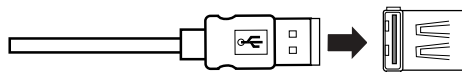


- ご使用のパソコンの内部 USB コネクタの形状が「端から2番目にピンがないタイプ」の場合は、付属の内部接続用 USB ケーブルのパソコン側のコネクタ (VCC のタグがあるほうのコネクタ) の端から2番目の穴がふさがっているタイプのものを使用します。



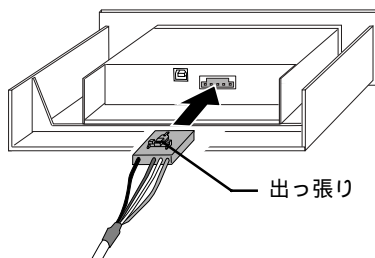
シリーズA - シリーズBタイプのUSBケーブルを使用する場合

- ご使用のパソコンのUSB 2.0 インターフェイスボードに内部接続用のシリーズAコネクタがある場合、シリーズA - シリーズBタイプのUSBケーブルを使用することができます。

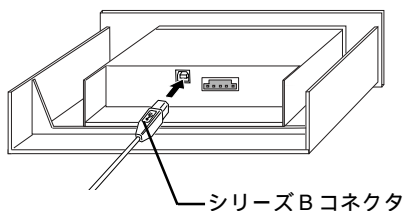


USB 2.0 インターフェイスボード側のコネクタ

内部接続用USBケーブルを選択した場合、出っ張りのあるほうのUSB 5ピンコネクタを本製品に接続します。本製品側に接続するコネクタの形状は同じ形です。

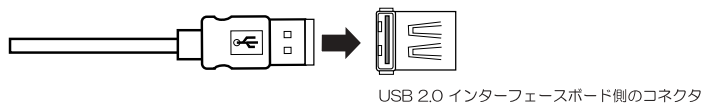
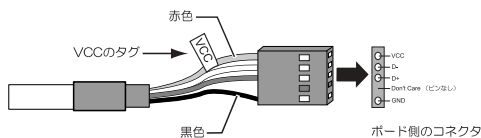
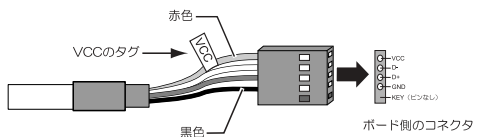


シリーズA - シリーズBタイプのケーブルを選択した場合、シリーズBコネクタを本製品に接続します。



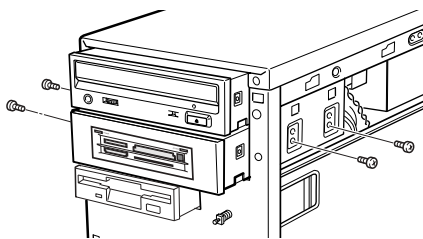
2

パソコンの内部USBコネクタ、またはUSB 2.0インターフェイスボードの内部USBコネクタに、USBケーブルのもう片方のコネクタを接続します。このコネクタは正しい方向でしか接続できません。上手く接続できない場合は無理に力を加えずに、方向およびピン配列を確認してください。

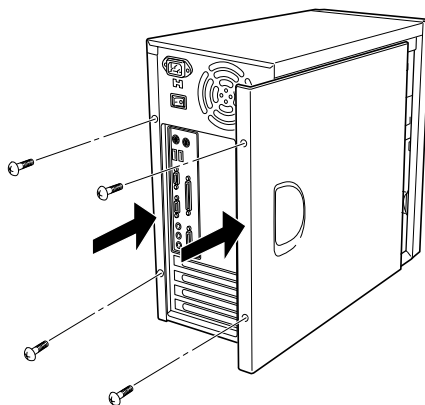


2.3 内部 USB ポートに接続する場合の手順

本製品を完全に挿入してパソコンに付属のネジでネジ止めします。ネジ止めの方法はパソコンによって異なりますが、多くの場合、横から止めます。



ケーブルなどを挟み込まないように注意して、パソコン本体のカバー類を取り付けネジなどで固定します。

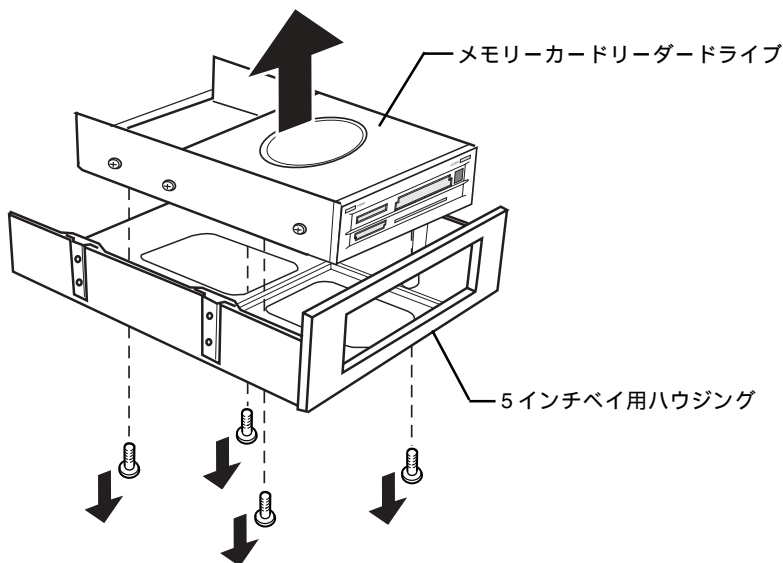


以上で接続は終了です。続いてドライバのインストール作業を行います。第3章にお進み下さい。

3.5 インチベイに接続する場合は・・・

本製品は5インチベイ用のハウジングが取り付けられて状態で出荷されています。そのため、本製品を3.5インチベイに接続したい場合は5インチベイ用のハウジングを取り外す必要があります。

5インチベイ用のハウジングを外したい場合は下図のように底面のネジ4本を取り外して、メモリーカードリーダードライブを上を持ち上げてください。



ご注意

- ・本製品を5インチベイに接続する場合、この作業は必要ありません。
- ・3.5インチベイはパソコン本体の機種によって形状や取扱いがまったく異なります。そのため、本製品を3.5インチベイに接続する場合は、パソコン本体の取扱説明書に従って作業を行なってください。

第3章

ドライバのインストール

接続ができればコンピュータの電源を入れWindowsのシステムを起動してください。この後の作業はOSにより異なりますので、それぞれに対応した部分をご参照ください。

3.1 Windows XP の場合

Windows XPには本製品を認識可能なドライバが標準で添付されているので、システム起動後、自動的にドライバがインストールされ「マイコンピュータ」に以下の新しい「リムーバブルディスク」のアイコンが4つ追加されます。これらのアイコンが追加されていたら接続およびインストールは正常に完了しています。第4章では接続後の取り扱いについてご説明しておりますので、そちらも必ずご参照ください。

のアイコン

CompactFlash
スロットに対応

のアイコン

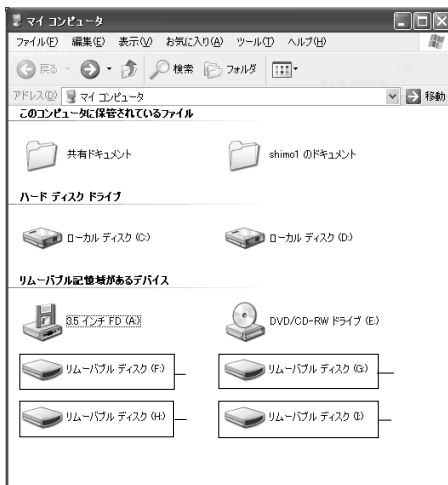
SDメモリーカード用
スロットに対応

のアイコン

SmartMedia用スロットに対応

のアイコン

メモリースティック用
スロットに対応



メディアをセットして対応する「リムーバブルディスク」のアイコンをダブルクリックするとセットしたメディアにアクセスすることができます。

Point

ポイント

「リムーバブルディスク」のドライブ名（「F:」、「G:」、「H:」、「I:」など）は環境によって異なります。

3.2 Windows Me の場合

Windows Me には本製品を認識可能なドライバが標準で添付されているので、システム起動後、自動的にドライバがインストールされ使用可能な状態になります。その状態で使用することも可能ですが、ここでは付属の「USB Card Reader ドライバより本製品用のドライバをインストールする手順をご説明いたします。

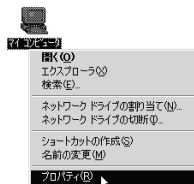
尚、本製品を標準ドライバでご使用の場合、ここでご紹介する本製品用のドライバをインストールして使用した場合と、表示されるアイコンが異なります。詳しくは「USB Card Reader ドライバ」CD-ROM の以下の場所をご参照ください。

¥docs¥ca64u2k¥winme.htm

本製品用ドライバのインストール手順

本製品をパソコンに接続後、システムを起動すると自動的に標準ドライバがインストールされますので、まずこのドライバを削除します。

- 1-1 「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」をクリックしてください。



- 1-2 「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されますので、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。

- 1-3 下のウィンドウが表示されますので、「ユニバーサル シリアル バス コントローラ」をダブルクリックして開きその下の表示される「USB 大容量記憶装置デバイス」を右クリックし、表示されるメニューから「削除」をクリックしてください。



1-4 「デバイス削除の確認」のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

1-5 「システムのプロパティ」ウィンドウに戻るので「OK」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じてください。

本製品付属の「USB Card Reader ドライバ」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

ここで CD-ROM の自動挿入機能が有効になっていると、自動的にセットアップランチャー（以下のウィンドウ）が起動します。



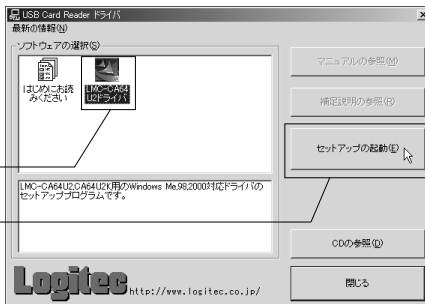
3

Point ポイント

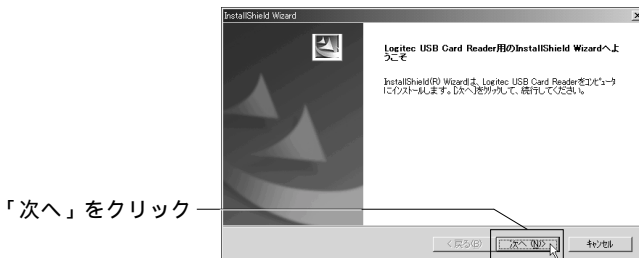
自動起動しない場合は、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

セットアップランチャーからドライバのインストーラを起動します。

1. 「LMC-CA64U2 ドライバ」と書かれたアイコンを1回クリックして選択状態にして、
2. 「セットアップの起動」をクリック

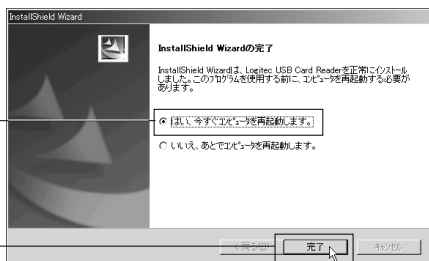


インストーラが起動し、以下のウィンドウが表示されます。



必要なファイルがハードディスクに転送されます。転送が終了すると以下のウィンドウが表示されます。

1. 「はい、今すぐコンピュータを・・・」のラジオボタンが「ON ()」になっている状態で、

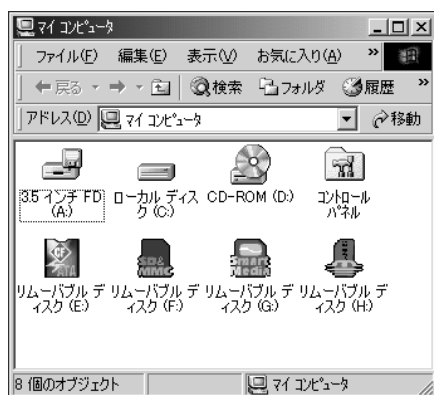


2. 「完了」ボタンをクリック

システムが再起動されます。再起動後に、「USB Card Reader ドライバ」ディスクをCD-ROMドライブから取り出しておいてください。

最後に結果を確認します。デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックして開いてください。右のように新しいアイコンが4個登録されていたら、接続およびインストールは正常に完了しています。

第4章では接続後の取り扱いについてご説明しておりますので、こちらも必ずご参照ください。



追加されたドライブアイコンは、それぞれ以下のスロットに対応します。



CompactFlash
スロット



SDメモリーカード
スロット



SmartMedia スロット



メモリースティックスロット

各メディアをセットして、対応するアイコンをダブルクリックすると、セットしたメディアにアクセスすることができます。

Point ポイント

アイコンの下のドライブ名(「E:」、「F:」、「G:」、「H:」など)は環境によって異なります。

3 . 3 Windows 98 の場合

本製品をパソコンに接続後、システムを起動すると「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動しますが、ここではこのウィザードは使用しませんので「キャンセル」ボタンをクリックしてください。



「キャンセル」をクリック

3

本製品付属の「USB Card Reader ドライバ」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

ここで CD-ROM の自動挿入機能が有効になっていると、自動的にセットアップランチャー（以下のウィンドウ）が起動します。



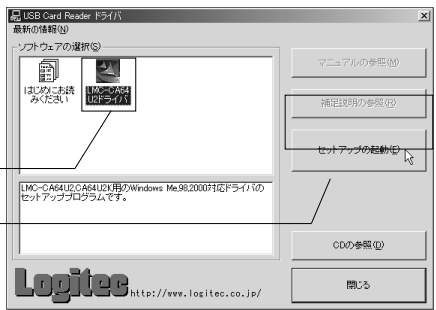
Point

ポイント

自動起動しない場合は、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

セットアップランチャーからドライバのインストーラを起動します。

1. 「LMC-CA64U2 ドライバ」と書かれたアイコンを1回クリックして選択状態にして、
2. 「セットアップの起動」をクリック



インストーラが起動し、以下のウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック



必要なファイルがハードディスクに転送されます。転送が終了すると以下のウィンドウが表示されます。

1. 「はい、今すぐコンピュータを・・・」のラジオボタンが「ON ()」になっている状態で、
2. 「完了」ボタンをクリック



システムが再起動されます。再起動後に、「USB Card Reader ドライバ」ディスクをCD-ROMドライブから取り出しておいてください。

最後に結果を確認します。デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックして開いてください。以下のように新しいアイコンが4個登録されていたら、接続およびインストールは正常に完了しています。

第4章では接続後の取り扱いについてご説明しておりますので、そちらも必ずご参照ください。



追加されたドライブアイコンは、それぞれ以下のスロットに対応します。



CompactFlash
スロット



SD メモリーカード
スロット



SmartMedia スロット



メモリースティックスロット

各メディアをセットして、対応するアイコンをダブルクリックすると、セットしたメディアにアクセスすることができます。

Point

ポイント

アイコンの下のドライブ名（「E:」, 「F:」, 「G:」, 「H:」など）は環境によって異なります。

3 . 4 Windows 2000 の場合

Windows 2000 環境でご使用の場合は、まず Service Pack のバージョンをご確認ください。

Service Pack 2 までの環境の場合

本製品を接続すると OS 標準のドライバがインストールされますが、このドライバでは本製品は動作しません。

この後の「本製品用ドライバのインストール手順」を参照して「USB Card Reader ドライバ」CD-ROM より本製品付属のドライバをインストールしてください。

Service Pack 3 環境の場合

Windows 2000 Service Pack 3 以降には、本製品を認識可能なドライバが標準添付されていますので、OS 標準ドライバでの動作が可能です。その場合、「マイコンピュータ」上には通常のリムーバブルディスクのアイコンが4つ登録されます(下図参照)。



このアイコンが4つ登録されます。

リムーバブルディスクはドライブ名が若い順に

- ・ CompactFlash 用スロット
- ・ SD メモリーカード用スロット
- ・ SmartMedia 用スロット
- ・ メモリースティック用スロット

の順で割り当てられます。

また、付属のドライバをインストールすることにより、「マイコンピュータ」上の「リムーバブルディスク」のアイコンが専用アイコンとして追加されます(下図参照)。付属ドライバのインストール方法は、この後の「本製品用ドライバのインストール手順」をご参照ください。

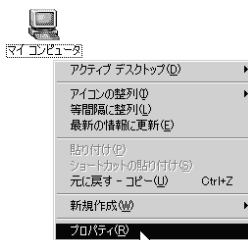


各スロットに対応した専用のアイコンが登録されます。

本製品用ドライバのインストール手順

本製品をパソコンに接続後、システムを起動すると自動的に標準ドライバがインストールされますので、まずこのドライバを削除します。

- 1-1 「マイコンピュータ」を右クリックして表示されるメニューから「プロパティ」をクリックしてください。



- 1-2 「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されますので、「ハードウェア」タブをクリックして表示される「デバイスマネージャ」ボタンをクリックしてください。

- 1-3 下のウィンドウが表示されますので、「USB (Universal Serial Bus) コントローラ」をダブルクリックして開きその下の表示される「USB 大容量記憶装置デバイス」を右クリックし、表示されるメニューから「削除」をクリックしてください。



1-4 「デバイス削除の確認」のメッセージが表示されますので、「OK」ボタンをクリックしてください。

1-5 デバイスの削除が完了したら、「デバイスマネージャ」ウィンドウおよび、「システムのプロパティ」ウィンドウを閉じてください。

本製品付属の「USB Card Reader ドライバ」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

ここでCD-ROMの自動挿入機能が有効になっていると、自動的にセットアップランチャー（以下のウィンドウ）が起動します。



Point

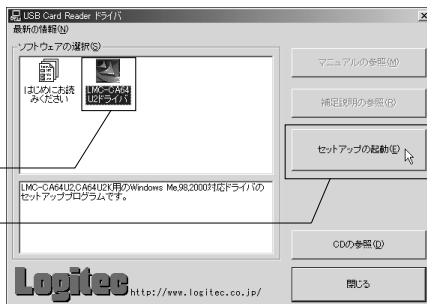
ポイント

自動起動しない場合は、「マイコンピュータ」から CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

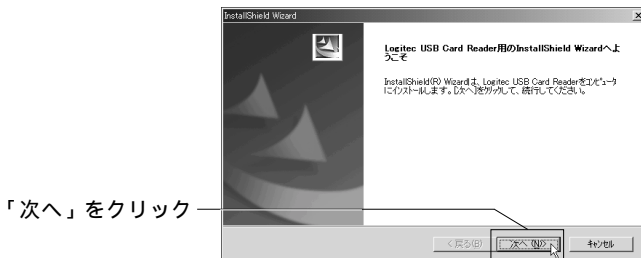
セットアップランチャーからドライバのインストーラを起動します。

1. 「LMC-CA64U2 ドライバ」と書かれたアイコンを1回クリックして選択状態にして、

2. 「セットアップの起動」をクリック



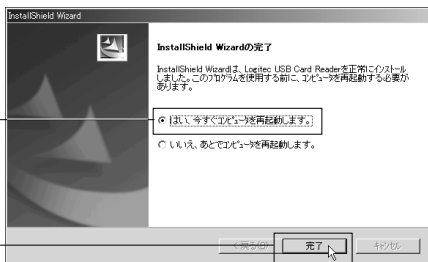
インストーラが起動し、以下のウィンドウが表示されます。



「次へ」をクリック

必要なファイルがハードディスクに転送されます。転送が終了すると以下のウィンドウが表示されます。

1. 「はい、今すぐコンピュータを・・・」のラジオボタンが「ON ()」になっている状態で、



2. 「完了」ボタンをクリック

システムが再起動されます。再起動後に、「USB Card Reader ドライバ」ディスクをCD-ROMドライブから取り出しておいてください。

最後に結果を確認します。デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックして開いてください。右のように新しいアイコンが4個登録されていたら、接続およびインストールは正常に完了しています。第4章では接続後の取り扱いについてご説明しておりますので、そちらも必ずご参照ください。



追加されたドライブアイコンは、それぞれ以下のスロットに対応します。



CompactFlash
スロット



SDメモリーカード
スロット



SmartMedia スロット



メモリースティックスロット

各メディアをセットして、対応するアイコンをダブルクリックすると、セットしたメディアにアクセスすることができます。

Point

ポイント

アイコンの下のドライブ名(「F:」、「G:」、「H:」、「I:」などと表示された部分)は環境によって異なります。

第4章 操作について

4.1 メディアのセット方法

ここでは、本製品で使用可能なメディア(代表的なもの)のセット方法と取り出し方法を説明します。

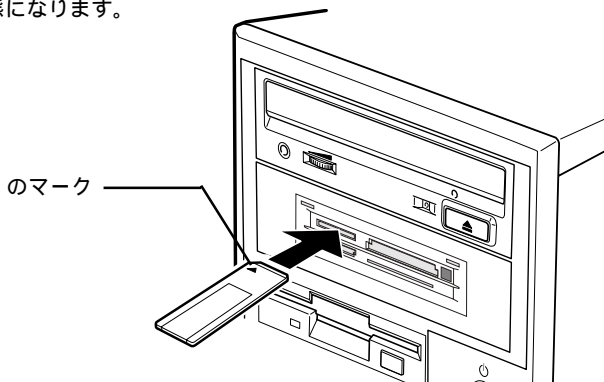


ご注意

- ・ 本製品のカードスロット(4箇所)へ対応する各メモリーカードをセットする際は、必ずスロットに対してまっすぐに差し込んでください。
- ・ 本製品がパソコン本体に接続されてる状態でメディアの取り出しを行う場合、いくつか重要な注意事項があります。これらの注意事項は「4.2 メディアの取り出しについて」で説明しておりますので必ずご参照ください。

メモリースティックのセット方法

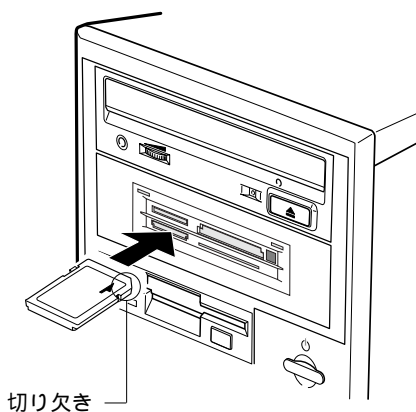
本製品にメモリースティックまたはメモリースティック PRO をセットする場合には、接点(金メッキが施されている部分)がある面を下にして、下図のようにメモリースティック用スロットに静かに差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので無理に力を加えないでください。メモリースティックが数ミリほど飛び出した状態になります。



メモリースティックを取り出す場合には、そのまま静かに引き抜いてください。いずれの場合にも、接点には触れないでください。

SDメモリーカードのセット方法

本製品にSDメモリーカードをセットする場合は接点(金メッキが施されている部分)がある面を下にして、下図のようにSDメモリーカード用スロットに静かに差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので無理に力を加えないで下さい。SDメモリーカードが数ミリ程飛び出した状態になります。

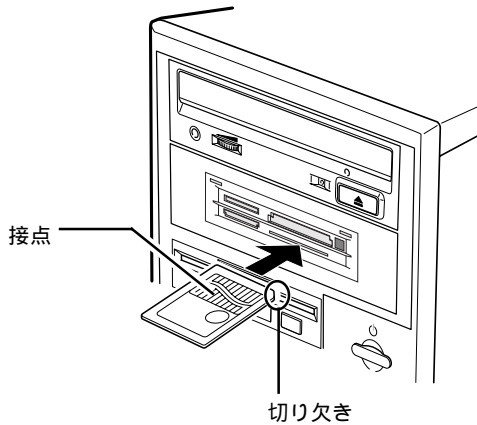


SDメモリーカードを取り出す場合には、そのまま静かに引き抜いてください。いずれの場合にも接点には触れないで下さい。

マルチメディアカードの場合も同様の手順でセット・取り出しを行います。

SmartMedia カードのセット方法

本製品に SmartMedia カードをセットする場合には、カードの接点（金メッキが施されている部分）側を上にして、カードの切り欠きを奥に向けて、SmartMedia用スロットに静かに差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので無理に力を加えないでください。カードが数ミリほど飛び出した状態になります。

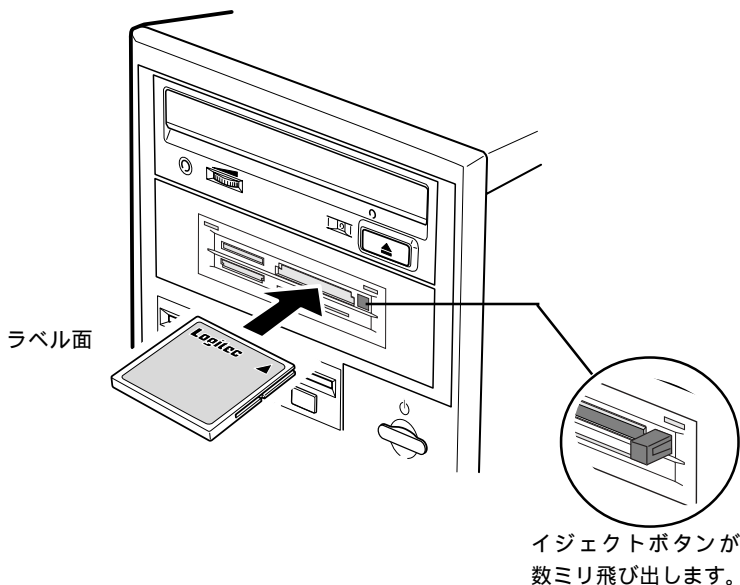


カードを取り出す場合には、そのまま静かに引き抜いてください。いずれの場合にも、カードの接点に触れないように注意してください。

本製品では 5V 仕様の SmartMedia はご使用になれません。

CompactFlash カードのセット方法

本製品に CompactFlash カードをセットする場合にはラベル面を上にして CompactFlash 用スロットに静かに差し込んでください。奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので無理に力を加えないでください。正しくセットされると CompactFlash 用イジェクトボタンが数ミリ飛び出します。



カードを取り出す場合には、飛び出した CompactFlash 用イジェクトボタンを押してください。カードが数ミリ引き出されますので、そのまま静かに引き抜いてください。いずれの場合にも、カードの接点に触れないように注意してください。



ご注意

本製品で microdrive はその他のメモリーカードと同時に使用することはできません。microdrive のみ本製品にセットしてください。

4.2 メディアの取り出しについて

本製品にセットしたメディアを取り出す場合は、以下のような点にご注意ください。

取り出す前に、メディアに保存されたデータファイルなどが開かれていないことを確認してください。

取り出す前に、アクセス表示ランプが「点滅」していないことを確認してください。

パソコン本体がスリープ状態にあるときは、メディアの取り出しは行わないでください。

Windows XP,2000 の場合は、一定の手順で取り出しを行う必要があります。手順については、以下の「Windows XP での取り出し手順」「Windows 2000 での取り出し手順」をそれぞれご参照ください。

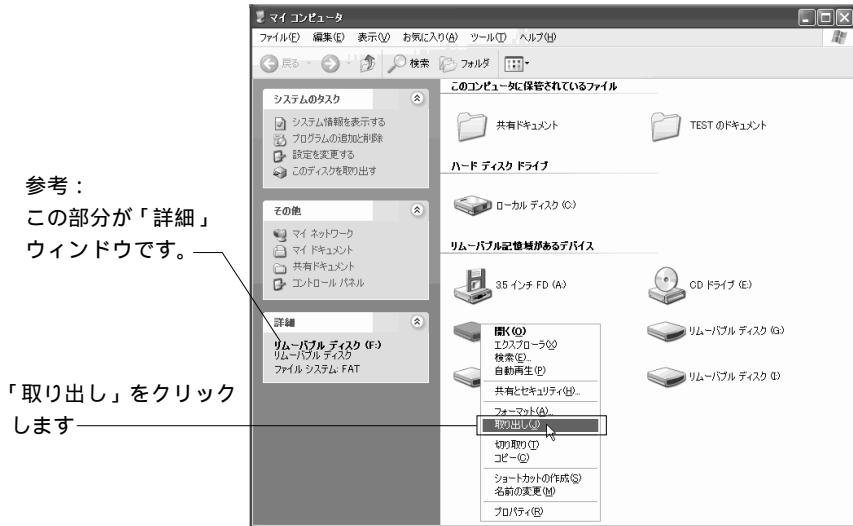
Windows XP での取り出し手順

まず最初に、メディアに保存されているデータファイルなどが開かれていないか、本製品のアクセス表示ランプが点滅していないかなど、上記の注意事項に問題がないことを確認してください。

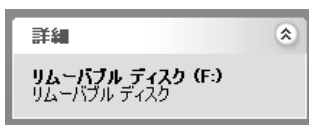
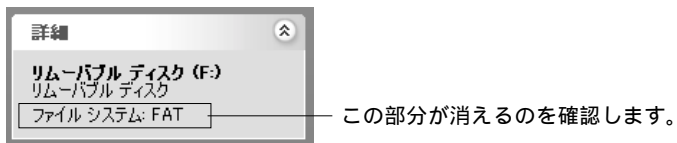
「マイコンピュータ」を開いて、取り出すメディアの入ったスロットに対応する「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックしてください。

4.2 メディアの取り出しについて

表示されるメニューから「取り出し」をクリックしてください。



「取り出し」をクリックした後、「詳細」ウィンドウの表示が以下のように変化することを確認してください。



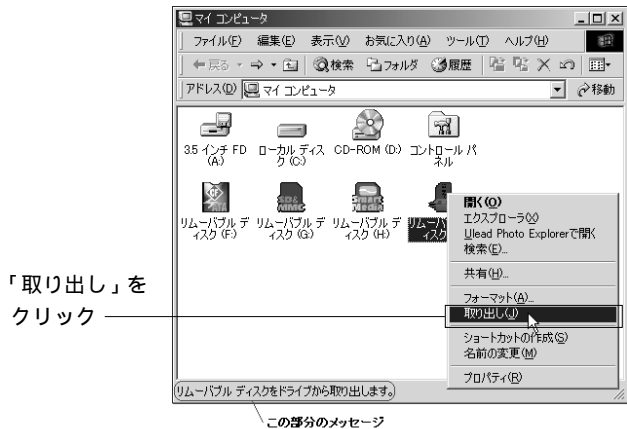
手動でメディアをスロットから取り出してください。

Windows 2000 での取り出し手順

まず最初に、メディアに保存されているデータファイルなどが開かれていないか、本製品のアクセス表示ランプが点滅していないかなど、上記の注意事項に問題がないことを確認してください。

「マイコンピュータ」を開いて、取り出すメディアの入ったスロットに対応する「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックしてください。

表示されるメニューから「取り出し」をクリックしてください。クリックした後、「リムーバブルディスクをドライブから取り出します。」のメッセージが消えるまでお待ちください。(このメッセージが表示されている間は、取り出し作業は完了しておりません。)



確認後、手動でメディアをスロットから取り出してください。



ご注意

メニューから「取り出し」を選択する部分は、一見無駄なようですが、ライトキャッシュをクリアするために必要です。これを行わないで取り外すと、データが失われる場合がありますので、必ず上記の手順で取り出してください。

4 . 3 使用上の注意事項

メディアのフォーマットについて

本製品にセットしたメディアのフォーマットを Windows 上で行いたい場合は、「リムーバブルディスク」のアイコンを右クリックして、表示されるメニューから「フォーマット」を選択します。ただし、デジタルカメラなどで使用しているメディアをこの方法でフォーマットすると、デジタルカメラで認識できなくなる場合があります。

デジタルカメラ等で使用しているメディアのフォーマットは、必ずデジタルカメラ等で行ってください。

microdrive の使用について

その他のメモリカードと一緒に microdrive を使用することはできません。ハードディスクカード、microdrive のみを本製品にセットしてご使用ください。

メモリカードをセットした状態での Windows の起動について

本製品にメモリカードをセットした状態で、Windows を起動または、再起動すると、セットしたメモリカードを正常に認識しない場合があります。Windows の起動後にメモリカードをセットしてご使用ください。

第5章 補足事項

5.1 トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

ケーブルの接続に接触不良などがなくどうか確認してください。システム起動の際、本製品にメモリーカードをセットして接続しませんでしたか？メモリーカードをセットした状態でシステムを起動または再起動すると、本製品が認識されない場合があります。一度メモリーカードを外して再起動してみてください。

microdriveを他のメモリーカードと一緒に使用しようとしていませんか。microdriveは他のメモリーカードと一緒に使用できません。他のメモリーカードを外してアクセスしなおしてください。

Windows環境でメディアをセットして「リムーバブルディスク」のアイコンをダブルクリックしたら、「デバイスの準備ができていません」というエラーが発生した。

メモリーカードをセットしたままWindowsを起動または再起動するとこのような現象が起こる場合があります。一度本製品からメモリーカードを取り外してWindowsを再起動してみてください。間違ったアイコンをダブルクリックしていないかを確認してください。

メディアを一度取り出して、接点にゴミなどが付着していないかどうかを確認してください。問題ない場合は、しっかりとセットして、もう一度試してみてください。

データ転送速度が遅い

USB2.0のポートに正しく接続されていますか。

USB1.1のポートに接続されている場合、データの転送速度はFull-Speed（最大理論値12Mbps）までとなります。High-Speed（最大理論値480Mbps）で転送を行なうにはUSB2.0ポートにつなぎかえてください。

パソコン本体にUSB2.0ポートがない場合は別売りのUSB2.0インターフェイスボード（PCI用インターフェイスボード）を接続してドライバのインストールを行なってから、接続しなおしてみてください。

特定のメディアに書き込みだけができない。

メモリスティック、SDメモリーカードやSmartMediaには、ライトプロテクト（書き込み禁止）の機能があります。書き込みが禁止されていないかどうかを確認してください。

特定のメディアをアクセスできない。

そのメディアをフォーマットしたデジタルカメラ等にメディアを戻して、そのメディアが認識できるかどうかを確認してください。これで認識できない場合は、そのメディアはフォーマットが壊れています。デジタルカメラなどで再フォーマットを行ってください。

5V仕様のSmartMediaをセットしていませんか？ 本製品では5V仕様のSmartMediaはアクセスできません。

本製品でフォーマットしたメディアをデジタルカメラにセットしたが認識されない。

デジタルカメラでは基本的なフォーマットはパソコンと同じでも、特定のボリュームラベルやフォルダがないと認識されない場合があります。もっとも確実な方法は、そのデジタルカメラで再フォーマットを行うことです。（再フォーマットを行うと、そのメディアに保存されたデータは失われますので必要に応じてバックアップを行ってください。）

スリープ状態から復帰できない。

パソコンのスリープ（サスペンド）状態の処理方法により、このような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカーから供給されるアップデートプログラム等によりこの現象を回避できる場合もあります。

アップデートプログラム等が用意されていない場合は、スリープ（サスペンド）機能をOFFにしてご使用ください。

また、USB 2.0インターフェイスボードを接続している場合はUSB 2.0インターフェイスボードがスリープをサポートしているかご確認ください。

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますので活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitec.co.jp/>

ハードウェア仕様

製品型番		LMC- CA64U2K	
搭載スロット		メモリスティック × 1 SDメモリーカード × 1 *1 SmartMedia × 1 CompactFlash × 1 *2	
使用可能カード		メモリスティック SDメモリーカード マルチメディアカード SmartMedia *3 CompactFlash microdrive *4	
最大データ転送速度 *5		480 Mbps (High-Speed) 12Mbps (FULL-Speed)	
コネクタ形状		USB シリーズ B 専用5 ピンコネクタ	
環境条件 *6	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 90 %
消費電流		5V 500 mA (Max)	
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)		149 × 42 × 180 mm *7	
質量		約 456 g *8	

*1 マルチメディアカード含む

*2 microdrive 含む

*3 3.3V 仕様のみ

*3 その他のメモリーカードとの同時使用はできません

*4 理論値

*5 ただし結露なきこと

*6 突起部を除く

*7 本体のみ

Memo

Memo

Memo

保証書とサービスについて

本製品には、保証書が添付されています。

保証書は販売店で所定事項を記入してお渡ししています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

保証期間は保証書に記載されています。お買い上げ日より有効です。

サービスを依頼される場合

修理品については、下記の弊社サービス窓口にお送りいただくか、お求めいただいた販売店へご相談ください。(故障かどうか判断がつかない場合は、事前に弊社テクニカルサポートにお問い合わせください。)

東日本地域にお住まいの方：

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック(株) 伊那サービスセンター (3番受入窓口)

西日本地域にお住まいの方：

〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀 1-4-10 四ツ橋パークビル 3F

ロジテック(株) 大阪サービスセンター

弊社製モニター、パソコン本体、NAS/RAID、HDビデオレコーダー製品に限り「大阪サービスセンター」では受け付けておりません。ご注意ください。

保証期間経過後の修理については、有償修理となります。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品などの問題から修理できない場合がありますのであらかじめご了承ください。なお、補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)の最低保有期間は、製品終息後5年間です。

サービスをご依頼される場合には、以下の事項をできるだけ書面にてお買い上げの販売店にお伝えください。

お名前、住所、電話番号

保証書に記載された機種名、シリアルNo.

故障の状態、接続構成、使用ソフトウェア(なるべく詳しく)

お問い合わせについて

弊社ではお客様からのお問い合わせの窓口を用意しています。製品に対する技術的なご質問、取扱説明書に対する質問等は、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。なお、回線が混み合いご迷惑をおかけすることもございますので、そのような時には、FAXまたはお手紙にてお願い致します。その際、上記 ~ の内容をご記入ください。特にご連絡先の電話番号は必ずご記入ください。

ご注意： 電子メールによるサポートは行っておりません。文書でお問い合わせをいただく場合には、必ず電話番号/FAX番号をご記入ください。

お問い合わせ先

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8 2 6 8

ロジテック株式会社 テクニカルサポート

TEL. 03-5326-3667 (東京) (祝祭日を除く月～金曜日)

FAX. 0265-74-1456 (長野) 9:30～12:00、13:00～17:00)

間違い電話が多くなっております。お問い合わせの際は番号をよく確認して、上記の番号へおかけください。

Logitec 内蔵型メモリーカードリーダー・ユーザーズマニュアル

2003年 6月改訂

LMC-CA64U2K V04

製造元：ロジテック株式会社

本 社：〒111-0043 東京都台東区駒形 1 - 1 2 - 1 4 日本生命浅草ビル

LMC-CA64U2K V04



<http://www.logitech.co.jp/>